

夢を掴む力をつける

何かを成しとげるためには、力が要ります。学校では、地域や企業の力を借りながら、確かな学力と基礎的な体力が身につくよう、様々な工夫をしています。

学力の向上には、言葉の力が必要です。語いを増やし、言葉の感性を磨き、思考力、判断力、表現力を高めるためには読書が効果的です。市では学校司書を配置し、子どもたちの知的好奇心を刺激する図書館運営、学級担任や教科担当の教師と連携し図書館を活用した授業の推進など、「わくわくする図書館」を目標に読書環境の整備に努めています。



読書活動

学校運営協議会が主体となって土曜学習会を実施している学校があります。地域の人たちと学校が連携して子どもたちの学力を高めようとする取組で、子どもたちは自主的に参加します。



土曜学習会

長浜バイオ大学と連携して理系人材の育成に取り組んでいます。ワクワク・ドキドキするような大学での科学実験を通して、豊かな創造力、問題解決力を育みます。

理科教育の推進



夢を追い続けるために

あいさつ運動



【長浜子どものちかい】の一つ目は「元気にあいさつをします」です。あいさつは、全ての基本です。各学校や生徒会の取組としてもあいさつ運動を展開しています。

子どもたちもスマホやインターネットを利用する時代になりました。正しく使えば便利なものですが、使い方を間違えばトラブルになります。市内13中学校の生徒代表が集い、「中学生にとって必要な」「上手に使うためには・・・」など議論が交わされました。生徒会を中心に今後どのような動きに発展するのか楽しみです。



情報モラル教育

夢を追いかけける人は、基本的な生活習慣を身につけ、規範意識、生命の尊重、他人への思いやりなど豊かな心がなければなりません。家庭・地域・学校が連携し、子どもの夢を全力で支える、そんな社会をめざします。

第2期長浜市教育振興基本計画

第1期計画が今年度で終了することから、教育分野において引き続き取り組むべき課題や社会情勢の変化により生じた新たな課題等に対応していくため、第2期計画(平成28～平成32年度)を策定しました。

基本方針 つながりあい、学びあい、豊かに生きる人づくりをめざす「ながはま」

- 基本目標**
- ①乳幼児期における就学前教育を充実します
 - ②子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
 - ③学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
 - ④地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心の育てます
 - ⑤いつでも、どこでも、だれでも学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
 - ⑥安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します

*本計画は、本庁・北部振興局・各支所の情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。